

国際組織からの連帯のメッセージ

国際労働組合総連合（ITUC）平等局長
パオラ・シモネッティ



連合ジェンダー平等推進中央集会の開催にあたり、リュック・トライアングル ITUC 書記長と、則松佳子さんが現議長を務める ITUC 女性委員会から、みなさまにメッセージをお伝えできることを嬉しく思います。

世界は今、複数の危機に直面しています。いくつか例を挙げるなら、昨今の物価上昇による不平等の拡大、気候変動、民主主義の後退、極右勢力の台頭、公衆衛生への脅威があります。周縁化や排除、差別の対象となる恐れがある女性などは、特に、こうした重層的な危機の複合的な影響にさらされています。国連は最近、「ジェンダー平等が完全に実現するのは何世紀も先になる」と警告しました。

こうした状況を背景に、「新しい社会契約」*がこれまで以上に緊急に求められています。2022年12月に開催された第4回 ITUC 世界大会において、世界的な労働組合運動はジェンダー平等・公平を、「新しい社会契約」を求める労働者の主要な要求の中心に据えました。

- **雇用**：私たちは、人々と地球を利するケアエコノミーなどの戦略部門を含め、5億7500万人分のディーセント・ワークを2030年までに新たに創出することと、10億人の非正規で働く労働者（その大半は女性）の正規化を求めています。
- **賃金**：私たちは、最低限の生活を営むのに必要な賃金水準の導入、同一価値労働・同一賃金の実現を含め、すべての人に公平な賃金を求めています。
- **権利**：私たちは ILO 第190号条約と第206号勧告に従い、すべての労働者が暴力とハラスメント（ジェンダーにもとづく暴力とハラスメントを含む）のない仕事を享受する権利など、仕事における基本的権利が雇用形態にかかわらず尊重され、確実に履行されることを求めています。
- **社会的保護**：私たちはジェンダーに配慮した普遍的な社会的保護を求め、また、社会的保護制度の構築・適用をめざす低所得国への支援を目的とした世界的な社会的保護基金を求めています。
- **平等**：私たちはすべての人の平等と、階級、ジェンダー、人種、民族、性的指向、性自認、移民であるか否か、先住民であるか否か、障がいの有無にもとづく差別の禁止を求めています。
- **包摂**：私たちは包摂を求めています。包摂によってこそ、数十億の人々を繁栄の享受から排除している世界の金融・貿易制度の植民地主義的な構造的枠組みが一掃され、平和な世界を築き、SDGs の達成と多国間改革を約束することで可能となる、権利にもとづいた公正な開発モデルを構築することができます。

2022年11月に開催された第4回 ITUC 世界女性大会は、回復とレジリエンスに向けたジェンダー視点からのアジェンダを採択しました。このアジェンダは、働くすべての人に平等と公平を実現しようと変革に取り組む労働組合の青写真です。

最後に、国連は最近、10月29日を「国際ケア・サポートデー」と決めました。日本と世界の労働組合とケア労働者は、ケアへの公共投資拡大、ケア労働者のディーセント・ワーク、ケア政策の採用を求めてケア・アジェンダを推進してきました。来たる10月29日にはケア労働者の多大な奮闘をたたえましょう。

連合ジェンダー平等推進中央集会の成功をお祈り申し上げます。

友愛と連帯の意を込めて

* 「新しい社会契約」とは、現代の社会・経済の変化に対応した、新しい社会秩序と価値観を構築するための考え方であり、国連などが提唱している。ITUCでは特に労働者の6つ（雇用、権利、賃金、社会的保護、平等、包摂）の要求にもとづいて「新しい社会契約」が構築されることを求めている。



連合がすべての人のために公正で平等な社会をつくりあげようと、確固たる信念で献身的な取り組みをされていることに心から感謝申し上げます。

中でも、労働組合の女性たちが日本全国の女性を支えるだけでなく、アジア太平洋地域の女性運動の先頭に立ち、大変重要な役割を担われていることに賞賛を送ります。

私たちの共通の目標は変わっていません。アジア太平洋地域を、女性が率先して道を開いていく地域、年齢やジェンダー、人種、能力、社会階級にかかわらず、すべての人に平等な機会が与えられる地域にすることです。

このビジョンはまだ完全に実現できていないかもしれませんが、私たちの決意は揺らいでいません。心強いことに、このビジョンに沿った加盟組織の皆さまの行動の変化が見てとれます。すべての労働者に平等な権利を保障すべく女性と男性が協働することで変化が生まれているのです。この協働は、すべての社会で民主主義を発展させ、人権を擁護し、平等を促進するでしょう。

皆さまはこうした共通の価値を掲げて今年も集会を開き、それらを訴えるだけでなく行動に移そうとされていることを知り、嬉しい限りです。

なぜなら組合員は、包摂と多様性の原則をしっかり踏まえた、ビジョンを形にする具体的な行動を連合に求めているからです。変革を推進している女性組合員の驚くべき努力を、私たちも後押ししています。

女性とすべての個人がそれぞれの可能性を最大限に発揮でき、願望をかなえ、夢を実現できる現在と未来を私たちは求め続けています。

この進行中の取り組みを共通の課題として押し上げていく責任は、連合の一挙一動にあります。今、根深いジェンダー不平等を克服し、これまでに獲得した成果を脅かす勢力を押し返そうとする中で、団結と連帯を強めることが極めて重要な時期の集会となります。

本集会は、多様な声に耳を傾けるだけでなく、その声を強めて解決策を共に生み出す場でもありません。必要な変化についてただ議論するのではなく、集団としての対応を考え出す場です。もっといえば、誰もが望む変革をもたらすために、女性と男性が対等な立場でより実効的に協力しあう未来をめざして前に進むための場です。

この道のりを加速させるにはどうすればよいのか、私たちは常に考えなければなりません。

この集会は、意義ある対話、意見交換を刺激するものと信じています。特に、「すべての人のためにより公平・公正な仕事の世界を共につくっていくにはどのような方法が可能か」が中心テーマになるでしょう。

この道程は、数多くの課題を進展させる確固とした政治的決断と大胆な意思決定を必要としますが、最初にすべきことは明白です。

あらゆるタイプの女性リーダーを、あらゆるレベル、あらゆる分野で十分な数だけ養成しなければなりません。トップダウンで模範を示せる女性リーダーが必要です。

これは単なる議題ではありません。女性のリーダーシップを中心に据えた未来の設計図です。そのプラスの影響はすべての人に恩恵をもたらします。

連合にとって最大の利益となり、さらに重要なことに、平等という大義を押し進めます。

21世紀の日本とアジア太平洋地域の女性たちの可能性は無限です。女性と男性が共に活躍する未来を実現するには、組合員一人ひとりが組織全体のアプローチを理解し支持して懸命に努力する必要があります。

私たちはより明るい未来に向けて、団結、連帯行動、楽観主義を肝に銘じ、今もこれからも、この使命を果たさんとする連合のリーダーシップとたゆまぬ支援に期待しています。ともに変革を起こしましょう。

活発な意見交換がなされ、実りある建設的な集会となりますよう祈っています。